

飴 釉

白玉	25, 0瓦
日野岡	25, 0瓦
唐の土	50, 0瓦
緑礬	4, 0瓦
丹礬	3, 5瓦
	<hr/> 107, 5瓦

大和柿釉

唐の土	50, 0瓦
白玉	50, 0瓦
日野岡	10, 0瓦
緑礬	3, 0瓦
丹礬	3, 0瓦
	<hr/> 116, 0瓦

瑠璃釉

白玉	20, 0瓦
日野岡	10, 0瓦
唐の土	50, 0瓦
紺青	20, 0瓦
	<hr/> 100, 0瓦

藤色釉

唐の土	50, 0瓦
白玉	20, 0瓦
日野岡	15, 0瓦
紺青	20, 0瓦
黒吳須	7, 5瓦
	<hr/> 112, 5瓦

黒媚釉

唐の土	50, 0瓦
白玉	50, 0瓦
日野岡	10, 0瓦
紺青	12, 0瓦
黒吳須	5, 0瓦
	<hr/> 127, 0瓦

藍納戸釉

唐の土	50, 0瓦
白玉	50, 0瓦
日野岡	12, 0瓦
紺青	12, 0瓦
黒吳須	5, 0瓦
	<hr/> 129, 0瓦

鶯茶色釉

唐の土	50,0瓦
白玉	33,0瓦
日野岡	7,0瓦
紺青	5,0瓦
白繪土	5,0瓦
唐白目	2,0瓦
	<hr/>
	102,0瓦

鼠色釉

唐の土	33,0瓦
白玉	33,0瓦
日野岡	7,0瓦
加茂川石	3,0瓦
白繪土	2,0瓦
	<hr/>
	78,0瓦

飴色釉

唐の土	50,0瓦
白玉	25,0瓦
日野岡	10,0瓦
白繪土	5,0瓦
鉄粉	2,5瓦
	<hr/>
	92,5瓦

澁紙色釉

唐の土	50,0瓦
日野岡	5,0瓦
黄土	7,5瓦
鉄粉	2,5瓦
	<hr/>
	60,0瓦

薄萌黄色釉

唐の土	33,0瓦
白玉	33,0瓦
日野岡	7,0瓦
丹礬	2,5瓦
白繪土	3,0瓦
	<hr/>
	78,5瓦

桃色釉

唐の土	30,0瓦
白繪土	50,0瓦
黄土	10,0瓦
	<hr/>
	90,0瓦

胡麻釉

唐の土	10,0瓦
日野岡	3,5瓦
鉄粉	3,5瓦
	<hr/>
	17,0瓦

黒繪釉

唐の土	30,0瓦
鉄粉	50,0瓦
	<hr/>
	80,0瓦

尼焼薬

唐の土	50,0瓦
白玉	25,0瓦
日野岡	10,0瓦
緑礬	15,0瓦
	<hr/>
	100,0瓦

黄色釉 (1)

唐の土	100,0瓦
日野岡	30,0瓦
紅柄	見計ひ
	古薄吳藍色に合はせ用ゆべし

黄色釉 (2)

唐の土	50,0瓦
日野岡	12,5瓦
唐白目	7,5瓦
	<hr/>
	70,0瓦

黄色釉 (3)

唐の土	50,0瓦
白玉	25,0瓦
日野岡	10,0瓦
唐白目	5,0瓦
	<hr/>
	80,0瓦

青色釉 (1)

唐の土	50,0瓦
白玉	25,0瓦
日野岡	12,5瓦
緑青	35,0瓦

青色釉 (2)

唐の土	50,0瓦
白玉	25,0瓦
日野岡	10,0瓦
緑青	15,0瓦
	<hr/>
	100,0瓦

黒交趾釉

黒交趾薬 (強)

加茂川石	50,0瓦
白玉	20,0瓦

黒交趾薬 (中)

加茂川石	50,0瓦
白玉	25,0瓦

黒交趾薬 (弱)

加茂川石	50,0瓦
白玉	35,0瓦

黒交趾薬 (極弱)

加茂川石	50,0瓦
白玉	30,0瓦

黄瀬戸釉

唐の土	15,0瓦
白玉	50,0瓦
黄土	0,5瓦
紅柄	0,5瓦
	<hr/>
	66,0瓦

紺柿釉

緑青	8,0瓦
白玉	30,0瓦
唐の土	30,0瓦
	<hr/>
	68,0瓦

變萌黄釉

緑青	3,0瓦
白繪土	7,0瓦
白玉	50,0瓦
唐の土	50,0瓦
	<hr/>
	110,0瓦

淺黄釉

白綠	0,1瓦
白繪土	3,0瓦
丹礬	30,0瓦

赤繪釉

光明丹	10,0瓦
黄土	5,0瓦
唐の土	10,0瓦
硼砂	3,0瓦
	<hr/>
	28,0瓦

本黒釉

加茂川石	50,0瓦
白玉	50,0瓦

尼焼釉 (1)

白玉	50,0瓦
緑礬	15,0瓦
唐の土	25,0瓦
硼砂	4,0瓦
日野岡	10,0瓦
	<hr/>
	104,0瓦

尼焼釉 (2)

唐の土	30,0瓦
日野岡	40,0瓦
紅柄	15,0瓦
	<hr/>
	85,0瓦

尼焼釉 (3)

唐の土	50,0瓦
白玉	5,0瓦
紅柄	33,0瓦
	<hr/>
	88,0瓦

黒流し釉

唐の土	20,0瓦
鉄粉	1,0瓦
緑青	2,0瓦
白玉	30,0瓦
	<hr/>
	53,0瓦

青流し釉

唐の土	30,0瓦
緑青	1,0瓦
白玉	20,0瓦
	<hr/>
	51,0瓦

青色繪具 (1)

酸化クローム	15, 0瓦
吳須	5, 0瓦
天草石	80, 0瓦
	<hr/>
	100, 0瓦

同上 (2)

酸化クローム	10, 0瓦
燒貫コバルト	40, 0瓦
白繪土	50, 0瓦
	<hr/>
	100, 0瓦

同上 (3)

酸化クローム	30, 0瓦
白繪土	70, 0瓦
	<hr/>
	100, 0瓦

同上 (4)

酸化クローム	10, 0瓦
天草石	80, 0瓦
白玉	10, 0瓦
	<hr/>
	100, 0瓦

同上 (5)

酸化クローム	10, 0瓦
綠青	10, 0瓦
天草石	80, 0瓦
	<hr/>
	100, 0瓦

黒繪具 (1)

酸化クローム	12, 0瓦
紅柄	12, 0瓦
鉄粉	12, 0瓦
白玉	10, 0瓦
酸化コバルト	5, 0瓦
	<hr/>
	51, 0瓦

同上 (2)

紅柄	40, 0瓦
酸化クローム	10, 0瓦
酸化マンガン	20, 0瓦
鉄粉	30, 0瓦
	<hr/>
	100, 0瓦

同上 (3)

酸化コバルト	50,0瓦
紅柄	25,0瓦
酸化クローム	25,0瓦
	<hr/>
	100,0瓦

同上 (4)

クローム鉄鏝	70,0瓦
紅柄	25,0瓦
酸化コバルト	5,0瓦
	<hr/>
	100,0瓦

同上 (5)

酸化クローム	35,0瓦
鉄粉	20,0瓦
酸化コバルト	2,0瓦
白玉	18,0瓦
紅柄	25,0瓦
	<hr/>
	100,0瓦

茶色繪具 (1)

酸化クローム	30,0瓦
紅柄	30,0瓦
白繪土	30,0瓦
白玉	10,0瓦
	<hr/>
	100,0瓦

同上 (2)

紅柄	25,0瓦
酸化クローム	10,0瓦
酸化亞鉛	40,0瓦
天草石	30,0瓦
	<hr/>
	100,0瓦

同上 (3)

酸化クローム	20,0瓦
紅柄	40,0瓦
天草石	30,0瓦
酸化亞鉛	10,0瓦
	<hr/>
	100,0瓦

白盛繪具 (1)

天草	60,0瓦
白繪土	10,0瓦
蠟石	20,0瓦
白玉	10,0瓦
	<hr/>
	100,0瓦

同上 (2)

天草	80,0瓦
蠟石	10,0瓦
白玉	10,0瓦
	<hr/>
	100,0瓦

同上 (3)

白繪土	40,0瓦
天草	40,0瓦
白玉	20,0瓦
	<hr/>
	100,0瓦

銅色繪具 (1)

白盛繪具	30,0瓦
正圓子	60,0瓦
茶繪具	10,0瓦
	<hr/>
	100,0瓦

同上 (2)

白盛繪具	30,0瓦
正圓子	50,0瓦
白玉	20,0瓦
	<hr/>
	100,0瓦

水色繪具 (1)

燒貫コバルト	15,0瓦
蠟石	30,0瓦
天草	40,0瓦
白玉	20,0瓦
	<hr/>
	100,0瓦

同上 (2)

燒貫コバルト	30,0瓦
白盛	60,0瓦
白玉	10,0瓦
	<hr/>
	100,0瓦

藍色繪具 (1)

蠟石	10,0 瓦
天草	50,0 瓦
白玉	15,0 瓦
酸化コバルト	25,0 瓦
		<hr/>
		100,0 瓦

同上 (2)

白盛	40,0 瓦
白玉	10,0 瓦
酸化コバルト	50,0 瓦
		<hr/>
		100,0 瓦

同上 (3)

燒貫コバルト	30,0 瓦
酸化コバルト	10,0 瓦
白繪土	50,0 瓦
白玉	10,0 瓦
		<hr/>
		100,0 瓦

同上 (4)

燒貫コバルト	50,0 瓦
白盛	20,0 瓦
酸化コバルト	15,0 瓦
白玉	15,0 瓦

著者所有

陶磁器及
樂燒と繪
の釉藥と繪具の調合法

(郵税金拾六錢)

(定價金貳圓五拾錢)

大正十四年四月一日印刷
大正十四年四月十七日發行

著者 大森光彦

東京市外松澤村松原七軒町

發行者 飯田眞

東京市外松澤村松原七軒町

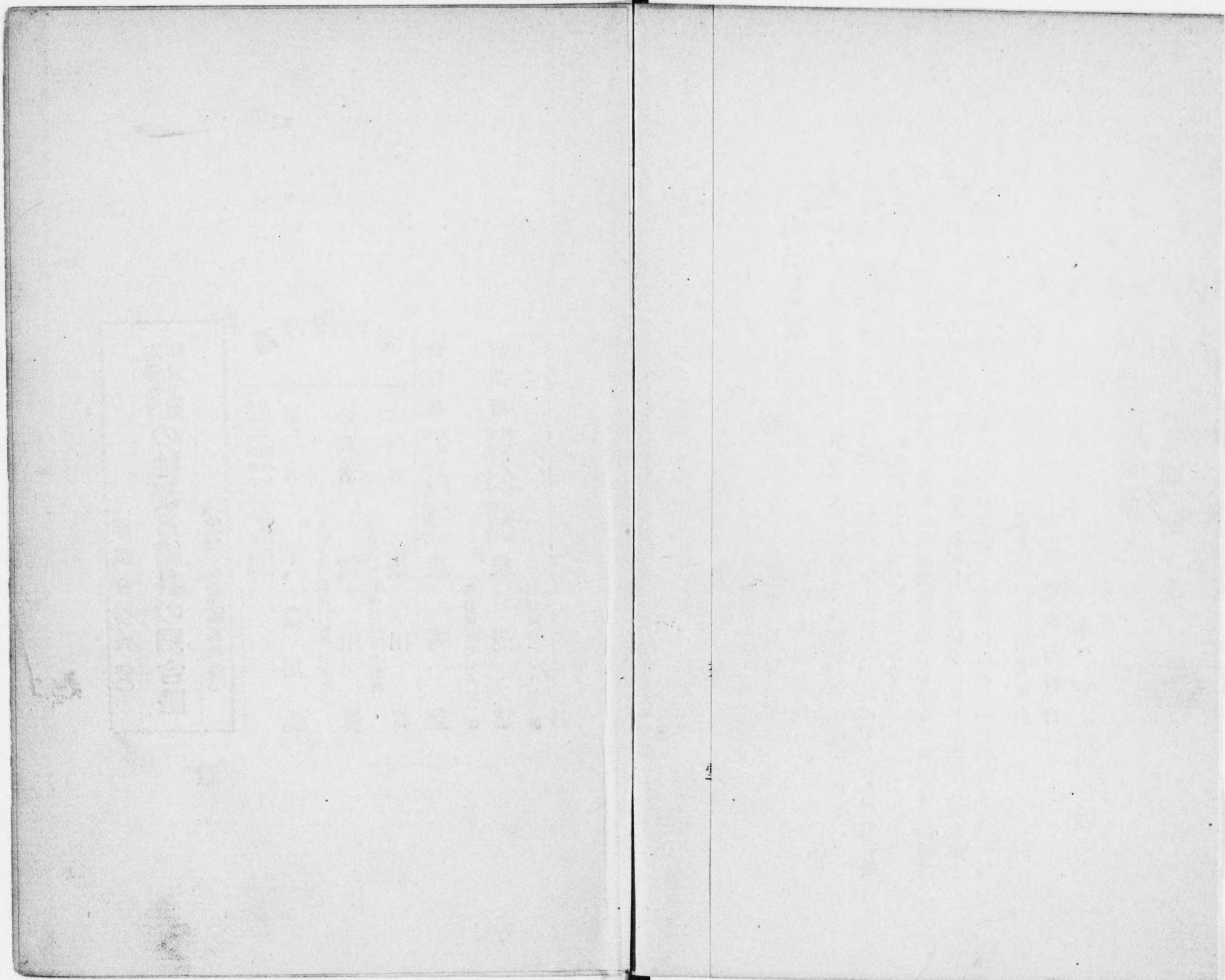
印刷者 飯田眞

發行所 東京市外松澤村松原七軒町 泉秀堂

振替東京七〇八七一番

賣捌所 東京市外松澤村松原七軒町八九五 泉秀堂

振替東京七〇八七一番



陶磁器圖案刊行に就いて

近來一般が工藝美術を重視した事は、大いに喜ぶべき現象と云はねばならない。而して工藝美術を要求して居るのは確かに鑑賞の向上である、故にやそれが作家に於ても十二分の努力を捧げねばならぬ時機に立ち到つたのである。

茲に今度私達は東京陶磁器研究所を起して藝術的の製作に努むると同時に、舊套的衣鉢を打破して以つて趣味深き現代の大家に依囑し、陶磁器に最も必要なる圖案集を刊行、幾分なりとも斯界の向上進展に資せんとする冀望のみ敢て一言を贅すと。

東京陶磁器研究所内

東野圖案刊行會

本方昌識

(顧問)及(執筆者)

岡田三郎助氏

小川芋錢氏

津田青楓氏

藤井達吉氏

(編纂)

本方秀麟氏

刊行規定

- 一、一輯を五葉とし、隔月又は毎月諸行するものとす。
- 一、内容には顧問中の作一葉、古人作一葉、本方秀麟作三葉とす。
- 一、各葉圖案は木版、手摺り、として原色のまゝ、應用し得るものとす。
- 一、染付又は上繪を主とし形状も新趣向のものを選ぶ。
- 一、會費は一輯を金貳圓とす。

東京市外東中野町宮前三四五

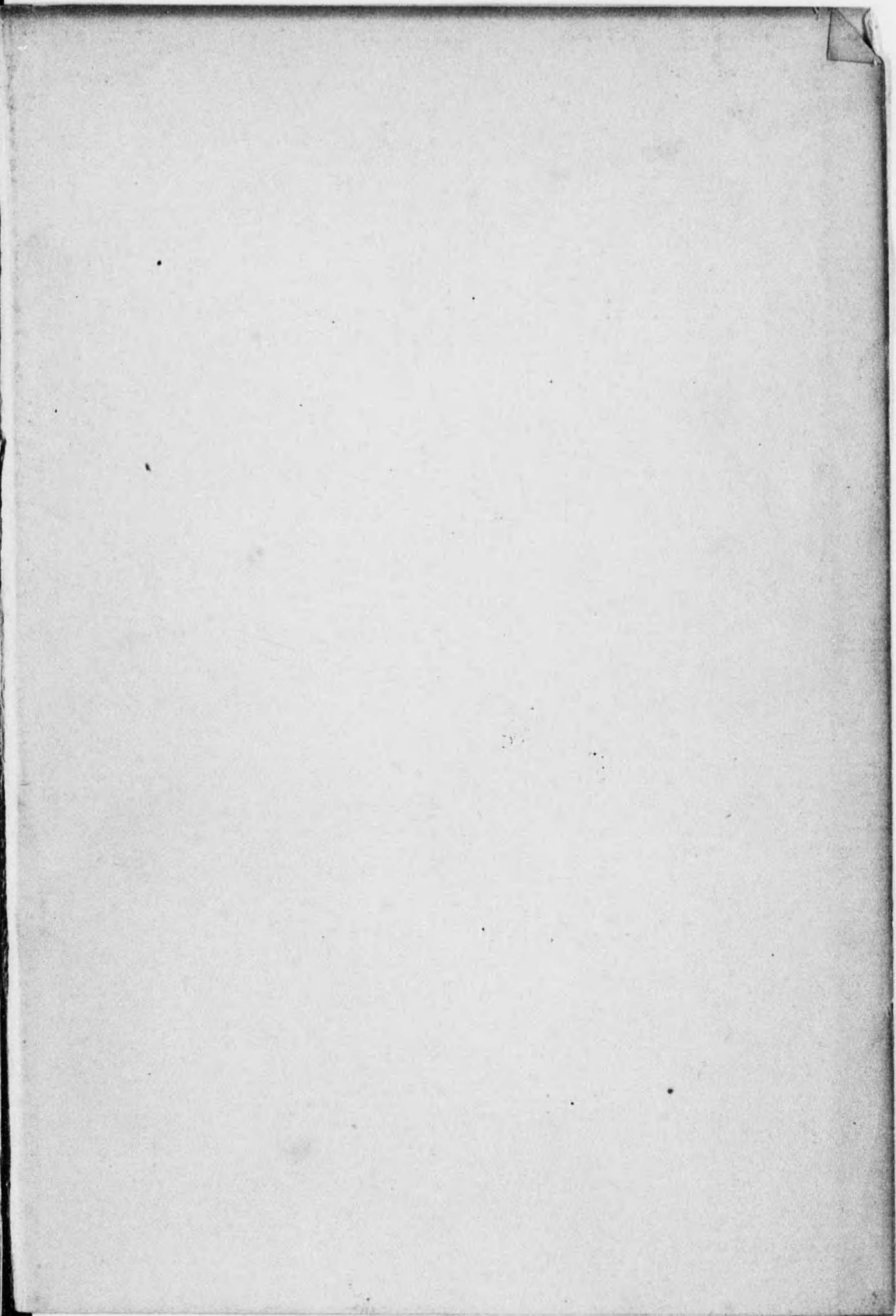
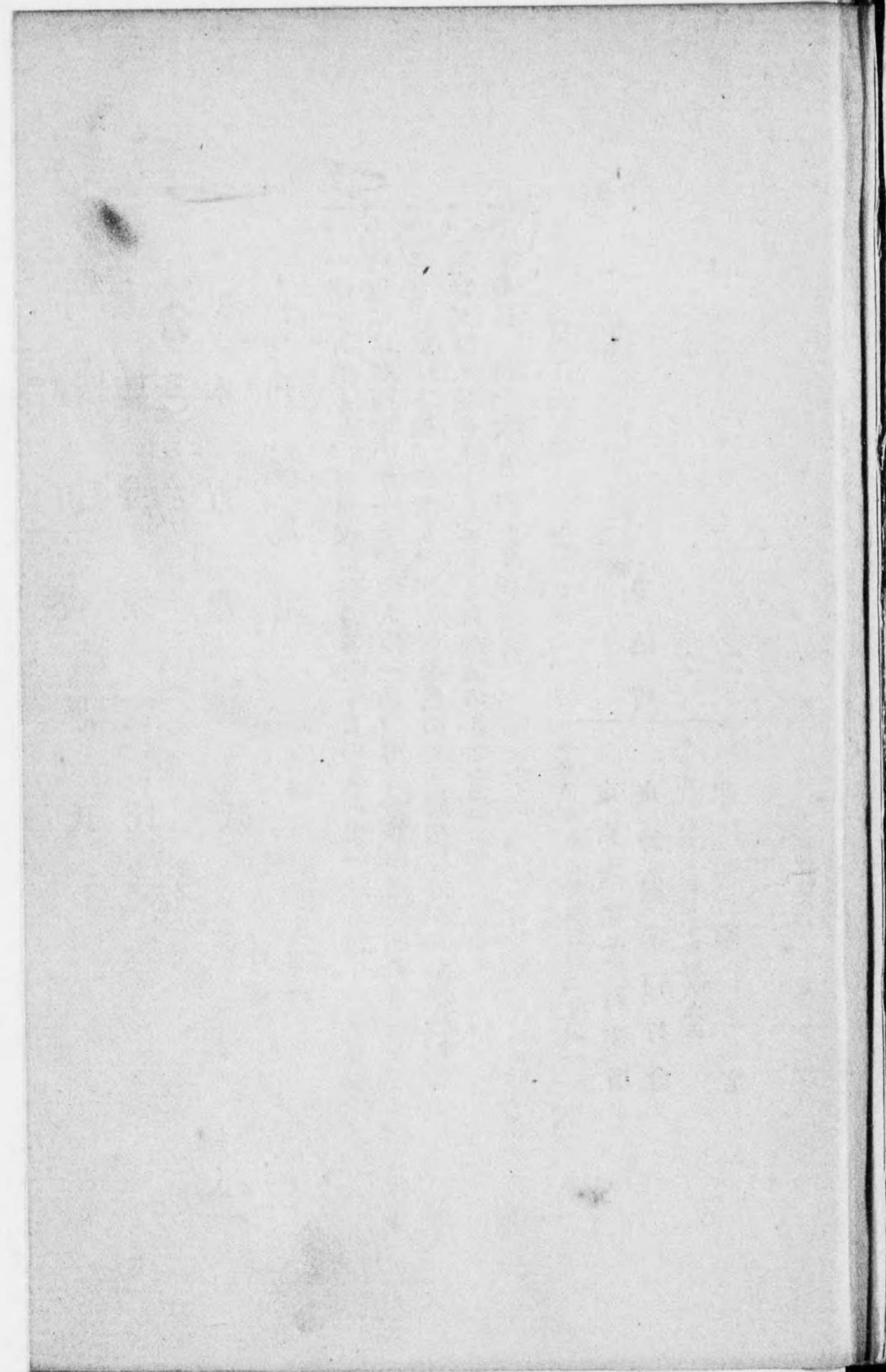
東京陶磁器研究所

申込所

東野圖案刊行會

東京市外松澤村松原七軒町八九五

泉秀堂





541

39

終